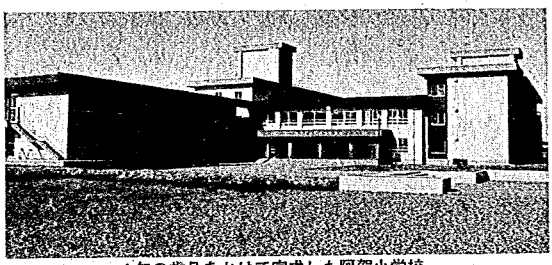
紙上竣工式

阿賀小開校式

- 阿賀小学校
- 新津東部地区学校給食共同調理場
- 荻川地区公民館
- 勤労青少年ホーム
- 東保育所
- 第三小学校

阿賀小学校

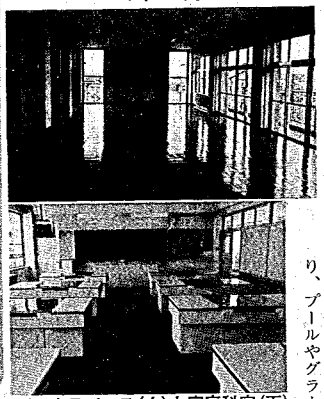
東町二丁目一三二五番地 ☎2—〇七二六



4年の歳月をかけて完成した阿賀小学校

第五中学校の隣に、阿賀小学校が開校しました。この小学校は、大安寺地内に設置されていた旧阿賀小と、二小学区の新金沢町、東町を分離統合して新設したものです。

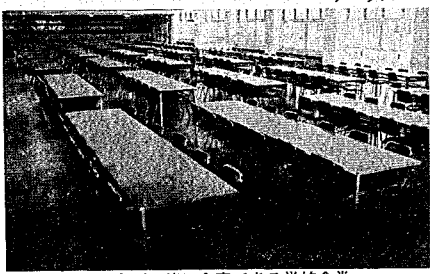
阿賀小新設事業は、昭和五十五年の用地買収からスタートしました。買収した土地は、約一万五百六十坪です。この埋め立てには、能代川分流工事の掘削残土を利用しました。そして、校舎の建築工事が始まったのが、昭和五十六年十一月です。工事期間は五十六～五十八年度の三年間にわたり、プールやグラウンド整地などを残し、この四月に開校になりました。



ワークスペース（上）と家庭科室（下）

市内の小学校で一番広い敷地に建つ阿賀小学校は、高学年棟、低学年棟、特別教室棟、管理棟、それに体育館とで構成されています。高学年棟（三階建て）には三年生以上の普通教室が八つ、低学年棟（二階建て）には一・二年生の普通教室が五つ、管理棟（二階建て）には職員室や保健室、特別教室棟（三階建て）には理科室や家庭科室、音楽室などの特別教室が六つ配置されています。

教室は、採光を考えてすべて南東向きに設計されているほか、この阿賀小の特徴として、低学年棟に設けられているワークスペースがあります。廊下の部分を教室と同じ位の幅に広げてあり、ちょっとした〝遊戯室〟といった感じです。また高学年棟には、三元放送で自主番組を流せるスタジオも設置されているなど、より良い教育環境を求め、工夫がこらされています。



全児童が一緒に食事できる学校食堂

阿賀小に隣接する東部共同調理場

新津東部地区学校給食共同調理場

東町二丁目一三二五番地 ☎4—〇一七〇

阿賀小学校の敷地の一角に、新津東部地区学校給食共同調理場も完成しました。鉄筋コンクリート造り二階建ての建物は、一階が調理場、二階が阿賀小学校の児童が一堂に会して食事できる学校食堂になっています。

この東部共同調理場は、満日小、結小、阿賀小、新関小、二中、三中、五中、新関中、結幼稚園の九校を対象に、四月十五日から業務を開始しています。現在作っている給食数は三千五百四食ですが、四千食まで調理可能の設備が施されています。また調理場の面積も、既設の西部地区学校給食共同調理場に比べて大分広くなっているほか、水もれ防止装置をつけたドライ方式を採用しているのも特徴の一つです。

なお、この調理場の建設に要した費用は、総額で約二億五千二百四十九万円（食堂分を含む）です。

ところで、用地買収から数えて足かけ四年にわたった阿賀小新設事業には、総額で約十四億四千万円の費用を要しました。これから行うプール建設工事、グラウンド整地に約五千万円を予定していますので、すべて完成するまでに約十五億円の事業費がかかることになります。